「学内で地域医療の体験ができる」課外授業シリーズ 2025 第三弾！を実施しました。

2025 年 10 月 30 日（木）17 時から「学内で地域医療の体験ができる」課外授業シリーズ 2025　第三弾！をハイフレックス式で実施し、当日は 22 名の参加がありました。

今回は、石川県輪島市（奥能登）にある　ごちゃまるクリニック 院長 小浦 友行先生から「災害とともに生きる～フェーズレスな災害対応とプライマリ・ケアの実践～」をテーマにご講演いただきました。

地元の地域医療に貢献したいという想いで、家庭医の夢を実現し、開業１年で震災に遭われた当時の緊迫した体験談や、先生ご自身も被災された中での医療活動についてお話しいただきました。

被災地域での医療活動や、インフラの中での看護と介護の大切さ、また、避難所においても、子どもがストレスを抱えないように子ども部屋を作ったりと、病人だけではなく、地域住民のケアにも取り組まれ、プライマリ・ケアの大切さについてお話しいただきました。

参加学生からは「甚大な災害を受けた地域の診療所の医師が、生身をもって経験されたことをお聞きできたのは非常に貴重で、またとない機会でした。」といった感想があり、本講演は盛況のうちに終了しました。

（この講演は 医学・看護学教育センター、滋賀県医師キャリアサポートセンター、NPO 法人滋賀医療人育成協力機構との共催で実施しました）